

対中国想定 一体化アピール

日米実動演習きょうから

日米間で2年に1回行われる最大規模の共同統合実動演習「キーン・ソード23」が10日から19日まで、全国の自衛隊基地や民間施設も利用して実施されま

では初の日米共同訓練を実施。南西諸島で初の日米オスプレイ共同訓練が実施さ

艦船への攻撃を想定した、自衛隊の地对艦誘導弾と米軍の高機動ロケット砲システム(HIMARS)の展開訓練を実施。期間中、奄美市内の公園や民間港灣な

われ、徳之島(鹿児島県) などが軍事利用されます。



日本最先端の与那国島(沖縄県)では米軍が初展開。沖縄の戦場化や、米軍の恒常的な使用につながる

として県内で反発が強まっています。

本土でも防衛省本省が置かれる東京・市ヶ谷駐屯地をはじめ空自の千歳(北海道)、三沢(青森県)、小松(石川県)、新田原(宮崎県)各基地や陸自の相浦駐屯地(長崎県)など、全国各地の基地が使用されます。

参加規模は陸海空自衛隊約2万6000人、米本土からの部隊を含む米軍約1万人。また、米軍指揮下としてオーストラリア、英国、カナダ各國軍が参加します。6月に改定されたNATO(北大西洋条約機構)の新戦略概念で初めて中国を名指ししており、その具体化とみられます。